

核兵器の ない世界へ

語り合おう！ アジア太平洋の反核平和運動の役割



リービン・カ
マチヨ
われらグアム
人会員、チャ
モロ人弁護士

21世紀の世界の政治、経済において、アジア太平洋が中心になると言われています。「アジア太平洋を制すれば、世界を制す」として、アメリカ政府は、核密約、沖縄の普天間基地県内移転、TPPなど、この地域の軍事、政治、経済すべての面で支配を強化しようとしています。

核兵器のない世界を実現する上でも、アメリカの核の傘にある日本と韓国、日本、韓国、グアムなどに張り巡らされた米軍基地網、北朝鮮の核問題など、この地域の障害を克服しなければなりません。

3・1ビキニデーのトップ行事、国際交流フォーラムには、この地域の主要な反核平和運動の代表が参加し、「核兵器のない世界へーアジア太平洋の反核平和運動の役割」をテーマに語り合います。海外代表は、今、アメリカで、グアムで、朝鮮半島で何が起きているのか、各国の運動の果たすべき役割、いかに自国政府の政策を変えさせ、非核・平和のアジア太平洋、ひいては核兵器のない世界を実現するのか、熱く縦横に語ります。

アメリカのアジア太平洋戦略の要とされている日本から、みなさんの積極的な参加と討論がなければ、このフォーラムは成り立ちません。みなさんの積極的な参加をよびかけます。



ジョゼフ・ガ
ーソン
アメリカフレ
ンズ奉仕委員
会ニュード事
務所責任者



土田 弥生 (つ
ちだ・やよい)
日本原水協事
務局次長

日本原水協・国際交流フォーラム
2月28日 火曜日 14:30~17:30
静岡グランシップ・会議ホール
※全体参加費の他に通訳機材使用料(一般2000円/学生1000円)が必要です。



チョン・ウク
韓国・平和ネ
ットワーク代
表